

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業
事業主体 (連絡先)	みどり湖水芭蕉の会 塩尻市大門五番町12番41号
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	479,007円 (うち支援金: 328,000円)

事業内容

水芭蕉公園内の景観が悪化してきているなど、観光地・市民の憩いの場である公園の魅力が低下してきていること及び地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するため、市民団体と地域住民が主体となって、水芭蕉公園の景観・水芭蕉の保全事業を実施

1. 遊歩道の整備

老朽化した遊歩道の整備を行った。

時期 平成28年4月1日～平成29年3月18日

延べ6回 (4/2.3.5.7.8.3/18)

延べ参加者78名 (内市民ボランティア7名)

場所 水芭蕉公園

規模 歩道: 約60m (まくら木30本分)

ロープ: 約60m

方法 (1)既設の遊歩道で腐食が激しい箇所(まくら木)を、新しいもの(2,000mm×140mm×200mm)と交換

※まくら木の連結は専用の金具で固定

※まくら木の長さは、チェーンソーで切断

(2)既設のロープで劣化が激しい箇所は交換を行った。

2. 周辺環境(観賞スペース)の整備

時期 平成28年4月1日～10月15日

延べ6回 (4/2.3.7/9.9/17.10/15)

延べ参加者81名

(内市民ボランティア5名)

場所 水芭蕉公園

規模 水芭蕉公園一帯

方法 (1)枝打ち・撤去、枯れ木伐採・撤去: 4月、9月

(2)草刈り・撤去=7月、10月

(3)ベンチ及び撮影スポットの設置=4月

ベンチ設置数: 5台(アルミ製。既製品)

※歩道沿の土手を平地にし、まくら木(2,000mm×140mm×200mm。基礎。10本分)を設置し、ベンチを金具で固定

撮影スポットは、水芭蕉が一望できる公園内の高台に設置



【遊歩道整備】



【ベンチ設置】



【草刈り】

(別記様式第12号)(第3の8関係)

(4)はな桃、イワツツジ等の植樹=10月
44本を公園の土手に植樹

※あわせて大雨により崩壊した棚田を修繕

3. 水芭蕉の育成

時期 平成28年9月1日～平成29年3月31日(あぜ板交換4/3)

規模 (1)あぜ板交換:10枚分
(2)苗の育成:約150株

方法 (1)古くなった棚田のあぜ板を交換
(2)陽のあたる場所で、プランター、ペットボトル等により水芭蕉の苗を育成

4. 水芭蕉祭りの開催

時期 平成28年4月10日(日)10時～15時

場所 水芭蕉公園

内容 (1)市民団体による音楽演奏、コーラス等発表(4団体)
(2)塩尻市立塩尻東小学校児童による地域絵カルタ看板設置、紹介
(3)協賛団体による甘酒及びコーヒーの振舞い
(4)水芭蕉の鉢植え販売(1株300円)

5. ワークショップの開催(市観光協会と連携)

【新規】

時期 平成29年3月3日(金)午後7時～9時

場所 塩尻市市民交流センター 会議室

参加者 みどり湖水芭蕉の会(2名)
合宿・研修旅館「陽だまりの家」(1名)
ヘラブナ釣り関係者(5名)
(一社)塩尻市観光協会(1名)

※欠席者:みどり湖地区代表者

内容 みどり湖、田川浦湖、水芭蕉公園、マレットゴルフ場等みどり湖及びその周辺を活用した誘客促進及び観光地づくり並びにみどり湖全体の一元管理について考えるワークショップを観光協会と連携して開催した。各団体の現在の活動、今後の活動内容、みどり湖一体をどのようにしていきたいかについて情報共有と意見交換を行った。平成29年度に開催する各団体の主要事業(4月:水芭蕉まつり、7月:ヘラブナ釣り大会、8月:もったいないビアガーデン)については、連携して事業を開催することとし、活用の可能性を探ることとした。今後も継続してワークショップを開催することとした。



【水芭蕉まつり】



【ワークショップ】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 水芭蕉公園内の遊歩道の整備及び周辺環境の整備(観覧スペースの確保)等を行ったことにより、景観の保全、来訪者の安全確保及び施設の充実を図ることができた。

2. 水芭蕉の育成を促進するため、水芭蕉の苗を育成したことにより群生数が増加した。

【水芭蕉群生数 (H25=約3,600株→H26=約4,000株→H27=約4,100株→H28=)
前年比3%増加】

3. 地域住民と協働で公園の整備・管理を行うことにより、水芭蕉公園に対する愛着と誇りが醸成され、会員にならなくてもボランティアとして整備に加わる者が増加した。また、魅力を発信するイベントへの市民団体の参加も増加した。

【会員数 (H25=26人→H26=28人→H27=28人→H28=28人)】

【市民ボランティア参加数 (H26=延べ8人、H27=延べ11人、H28=延べ12人) 前年比10%増加】

【水芭蕉まつりへの市民団体参加数H25=2団体延べ10人→H26=4団体1個人延べ30人、H27=5団体延べ35人、H28=5団体延べ39名) 前年比10%増加】

4. みどり湖の堤体の耐震工事が必要なため、現在、みどり湖でのへらぶな釣りが禁止されている中、水芭蕉公園の魅力を磨き上げることで魅力ある観光地・市民の憩いの場として観光客・市民の誘客促進に繋がっている。

【みどり湖観光入込客数】

H24=25,500人→H25=17,000人 30%減少

H26=16,500人 前年比5%減少※激減傾向に歯止め

め

H27=17,500人 前年比5%増加

H28=18,300人 前年比約5%増加

5. 市民団体及び地域住民が主体となって整備しているということもあり、

各種メディア等(信濃毎日新聞、タウン情報、中日新聞、市民タイムス、NBS土曜はこれダネッ、SBC3時はラララ等)の取材が情報発信にも繋がった。

【目標・ねらい】

- ① 水芭蕉公園の景観保全・磨き上げ
- ② 水芭蕉の保全・育成
- ③ 住民の愛着と誇りの醸成
- ④ 誘客促進(来訪者の増加)

※自己評価【B】

【理由】

- ・公園の魅力向上
- ・市民ボランティア、市民団体等の支援の増加
- ・水芭蕉の群生数の増加
- ・みどり湖来訪者の増加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1 観光協会と連携を図り、みどり湖一体の魅力の発信(水芭蕉公園、へらぶな釣り、もみじ山、宿泊施設等)を行うことにより誘客促進を図っていきたい。
- 2 水芭蕉公園の魅力を高めるため、水芭蕉群生箇所を増設を行っていきたい。また、休憩小屋、トイレの設置について行政に提案を行いたい。(休憩小屋は水芭蕉の会、トイレは行政等役割分担により魅力を高める。)
- 3 平成31年度からのみどり湖へらぶな釣り解禁に向けて、みどり湖水芭蕉の会、合宿・研修旅館「陽だまりの家」、へらぶな釣り関係者(5名)、みどり湖区、(一社)塩尻市観光協会、行政とみどり湖一体の今後の活用等について検討を行うとともに、民間主導(連携)により活用の可能性について探る取り組みを行っていきたい。